



## 取扱説明書

### ブラシレスモーター

### BLMモーター コネクタタイプ

### 防塵・防水仕様



## はじめに

### ■ お使いになる前に

製品の取り扱い、電気・機械工学の専門知識を持つ有資格者が行なってください。お使いになる前に、「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、本文中の警告・注意・重要に記載されている内容は、必ずお守りください。この製品は、一般的な産業機器への組み込み用として設計・製造されています。その他の用途には使用しないでください。この警告を無視した結果生じた損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

### ■ 関連する取扱説明書

この製品に関する取扱説明書には、次のものがあります。取扱説明書は製品には添付していません。当社のWEBサイトからダウンロードしていただくか、支店・営業所にお問い合わせください。  
<https://www.orientalmotor.co.jp/>

	名称
モーター	BLMモーター コネクタタイプ 防塵・防水仕様 取扱説明書(本書)
ドライバ	BMUシリーズ 取扱説明書 BLE2シリーズ 取扱説明書

接続や運転などの詳細については、ドライバの取扱説明書をご覧ください。

## 安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や損傷を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから製品をお使いください。

	<b>警告</b>	この警告事項に反した取り扱いをすると、死亡または重傷を負う場合がある内容を示しています。
	<b>注意</b>	この注意事項に反した取り扱いをすると、傷害を負うまたは物的損害が発生する場合がある内容を示しています。
	<b>重要</b>	製品を正しくお使いいただくために、お客様に必ず守っていただきたい事項を、本文中の関連する取扱項目に記載しています。

〔図記号の説明〕 : してはいけない「禁止」内容を示しています。

: 必ず実行していただく「強制」内容を示しています。

	警告
	<ul style="list-style-type: none"> <li>爆発性雰囲気、引火性ガスの雰囲気、腐食性の雰囲気、水中、可燃物のそばでは使用しないでください。火災・感電・けがの原因になります。</li> <li>通電状態で移動、設置、接続、点検の作業をしないでください。電源を切ってから作業してください。感電・装置破損の原因になります。</li> <li>モーターを昇降装置に使用しないでください。ドライバの保護機能がはたらくとモーターが停止し、可動部が落下する場合があります。けが・装置破損の原因になります。</li> <li>ケーブルを加工・改造しないでください。火災・感電・装置破損の原因になります。</li> <li>モーターのコネクタには無理な力を加えないでください。火災・感電・装置破損の原因になります。</li> <li>ケーブルを無理に曲げたり、引っ張ったり、挟み込まないでください。火災・感電・装置破損の原因になります。</li> <li>モーターのケーブル接続用コネクタのOリングに傷がつかないように、接続ケーブルを接続するまではコネクタキャップを外さないでください。火災・感電・装置破損の原因になります。</li> <li>絶縁抵抗測定、絶縁耐圧試験を行なうときは、モーター、ドライバに触れないでください。感電の原因になります。</li> </ul>

お買い上げいただきありがとうございます。

この取扱説明書には、製品の取り扱いかたや安全上の注意事項を示しています。

- 取扱説明書をよくお読みになり、製品を安全にお使いください。
- お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

	警告
	<ul style="list-style-type: none"> <li>モーターを分解・改造しないでください。感電・けが・装置破損の原因になります。内部の点検や修理は、お買い上げになった支店または営業所に連絡してください。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>設置、接続、運転・操作、点検・故障診断の作業は、適切な資格、知識を有する人が行なってください。火災・感電・けが・装置破損の原因になります。</li> <li>モーターはクラスⅠ機器です。設置するときは、モーターに触れないようにするか、接地してください。感電の原因になります。</li> <li>モーター、ドライバは、指定された組み合わせで使用してください。火災・感電・装置破損の原因になります。</li> <li>保守・点検は、必ず電源を切ってから行なってください。感電の原因になります。</li> </ul>

	注意
	<ul style="list-style-type: none"> <li>モーターの仕様値を超えて使用しないでください。火災・感電・けが・装置破損の原因になります。</li> <li>運転中および停止後しばらくの間は、モーターに触れないでください。モーター表面が高温のため、やけどの原因になります。</li> <li>通風を妨げる障害物をモーターの周囲に置かないでください。装置破損の原因になります。</li> <li>出力軸やケーブルでモーターを持ち上げないでください。けがの原因になります。</li> <li>素手でモーター出力軸(先端、歯切り部)に触らないでください。けがの原因になります。</li> <li>モーターとギヤヘッドを組み付けるときは、モーターとギヤヘッドの間に指などを挟まないようにしてください。けがの原因になります。</li> <li>モーターを装置に設置するときは、装置との間に指などを挟まないようにしてください。けがの原因になります。</li> <li>運転中は回転部(出力軸)に触れないでください。けがの原因になります。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>モーターは、取付板へ確実に固定してください。落下によって、けが・装置破損の原因になります。</li> <li>回転部(出力軸)に、カバーを設けてください。けがの原因になります。</li> <li>負荷は出力軸へ確実に取り付けてください。けがの原因になります。</li> <li>静電気による製品の破損を防ぐため、モーター、ドライバは必ず接地してください。火災・装置破損の原因になります。</li> <li>モーターは、正常な運転状態でも表面温度が70℃を超えることがあります。運転中のモーターに接近する可能性があるときは、図の警告ラベルをはっきり見える位置に貼ってください。やけどの原因になります。</li> </ul>



警告ラベル

## 使用上のお願い

この製品をお使いいただくうえでの制限やお願いについて説明します。

ご使用になるモーターの出力とドライバの出力は必ず合わせてください。

### 配線

#### ● モーターとドライバの接続

モーターとドライバ間は、専用の接続ケーブル(別売)を使って接続してください。接続ケーブルと、モーターまたはドライバの着脱回数は100回を目安にしてください。接続ケーブルを取り外すときは、モーターに付着している水分やゴミをよくふき取ってから行なってください。

#### ● 接続ケーブルのドライバ接続用コネクタなどを含むドライバ側の末端部には、水がかからないようにしてください

水がかかると、リード線を通してモーター内部に水が浸入し、モーターが破損する原因になります。詳しくは、6ページ「配線上的ご注意」をご覧ください。

### 設置環境

#### ● グリース対策

ギヤヘッドからまれにグリースがにじみ出ることがあります。グリース漏れによる周囲環境の汚染が問題となる場合には、定期点検時にグリースのにじみをチェックしてください。または、油受けなどの損害防止装置を取り付けてください。グリース漏れでお客様の装置や製品などに不具合を発生させる原因になります。

#### ● 低温環境で使用する場合

周囲温度が低い場合、ギヤヘッドに使用しているオイルシールやグリースの粘性によって負荷トルクが増加し、出力トルクが低下したり、過負荷アラームが発生することがあります。時間の経過にともない、オイルシールやグリースがなじみ、過負荷アラームが発生せずにモーターを運転できるようになります。

### 運転時

#### ● ギヤヘッド出力軸の回転方向

ギヤヘッドの減速比によって、モーター出力軸の回転方向とギヤヘッド出力軸の回転方向が異なります。

減速比	ギヤヘッド出力軸の回転方向
5、10、15、20、100	モーター出力軸と同方向
30、50	モーター出力軸と逆方向

### 絶縁抵抗測定、絶縁耐圧試験

#### ● モーターとドライバを接続した状態で、絶縁抵抗測定、絶縁耐圧試験を行なわないでください

モーターとドライバを接続した状態で、絶縁抵抗測定、絶縁耐圧試験を行なうと、製品が破損するおそれがあります。

### 防水性能について

モーターは、接続ケーブルを装着した状態で、保護等級IP67を満たしています。(接続ケーブルのドライバ用接続コネクタなどを含むドライバ側末端部を除く) 水のかかる環境でモーターを使用する場合やモーターを洗浄する場合は、次の内容をよくお読みになってご使用ください。

#### ● 保護等級IP67

モーターの水の侵入に対する保護等級は、IEC 60529 および IEC 60034-5 に従い、次の条件で評価しています。  
試験条件：水面下1mに製品を沈め、30分間放置後に、水の浸入がないこと。

#### ● 水中では使用しないでください

#### ● 温水をかけたり、温風をあてたりしないでください

モーターの防水性能は、常温(+5～+35℃)の真水、水道水を想定しています。

#### ● 高い水圧で洗浄しないでください

高い水圧で洗浄すると、塗装がはがれる原因になります。

#### ● 洗浄するとき、金属製のブラシなど硬いものは使用しないでください

金属製のブラシなど硬いもので洗浄すると、塗装がはがれる原因になります。

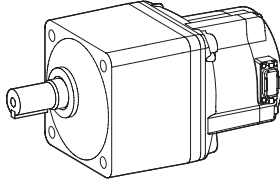
## 製品の確認

確認していただきたい内容や、各部の名称について説明します。

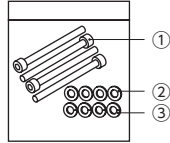
### ■ パッケージ内容

次のものがすべて揃っていることを確認してください。  
不足していたり破損している場合は、お買い求めの支店または営業所までご連絡ください。

□ モーター ..... 1 台      □ 取付用ねじセット ..... 1 セット \*



出力軸に平行キー固定



①六角穴付ボルト：4 個  
②平座金：4 個  
③ばね座金：4 個

### □ 安全にお使いいただくために ..... 1 部

\* 取付用ねじセットが付属していない製品もご用意しています。

### ■ 品名の見方

**BLM 7 200 H W - 5 S**  
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧

①	モーター種類	BLM：ブラシレスモーター
②	取付角寸法	7：110 mm
③	出力	200：200 W    300：300 W    400：400 W
④	モーター接続方式	H：コネクタタイプ
⑤	モーター保護等級	W：IP67
⑥	減速比	数字：ギヤヘッドの減速比
⑦	出力軸材質	S：ステンレス
⑧	取付用ねじセット	なし：付属    N：なし

### ■ 品名

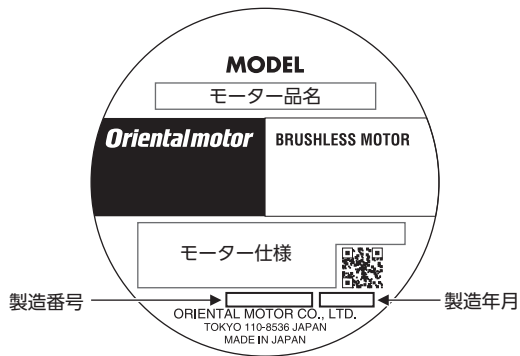
お買い求めの製品名は、パッケージのラベルに記載された品名で確認してください。モーターおよびギヤヘッド品名は、それぞれの銘板に記載された品名で確認してください。問い合わせの際は品名、製造番号、製造年月をお伝えください。

品名の □ には、減速比を表わす数字が入ります。  
取付用ねじセットが付属していない製品は、品名の末尾に **N** が付きます。

出力	品名	モーター品名	ギヤヘッド品名
200 W	BLM7200HW-□S	BLM7200HW-GFV	GFV7G□SW
300 W	BLM7300HW-□S	BLM7300HW-GFV	
400 W	BLM7400HW-□S	BLM7400HW-GFV	

■ 銘板情報

● モーター



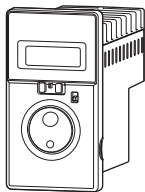
● ギヤヘッド



■ 組み合わせ可能なドライバ

モーターと組み合わせ可能な製品は、次のとおりです。

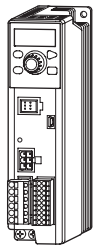
● BMUシリーズ



出力	モーター品名	ドライバ品名	
		単相 100-120 V	単相 200-240 V 三相 200-240 V
200 W	BLM7200	BMUD200-A	BMUD200-C
300 W	BLM7300	—	BMUD300-C
400 W	BLM7400	—	BMUD400-S*

\* 電源電圧は、三相 200-240 Vのみです。

● BLE2シリーズ



出力	モーター品名	ドライバ品名
		単相 200-240 V 三相 200-240 V
200 W	BLM7200	BLE2D200-C
300 W	BLM7300	BLE2D300-C
400 W	BLM7400	BLE2D400-S*

\* 電源電圧は、三相 200-240 Vのみです。

■ 接続ケーブル(別売)

モーターとドライバの接続には、専用の接続ケーブル(別売)が必要です。接続ケーブルは 20 mまで用意しています。ご使用になるドライバによって、接続できる長さが異なります。ドライバの取扱説明書でご確認ください。

品名と種類

CC 005 KHBL F

ケーブル長さ

005 : 0.5 m	040 : 4 m
010 : 1 m	050 : 5 m
015 : 1.5 m	070 : 7 m
020 : 2 m	100 : 10 m
025 : 2.5 m	150 : 15 m
030 : 3 m	200 : 20 m

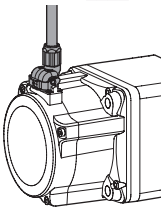
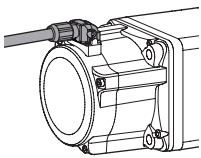
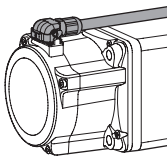
ケーブル引き出し方向

F : 出力軸側  
B : 反出力軸側  
V : 垂直

出力軸側: CC\_\_F

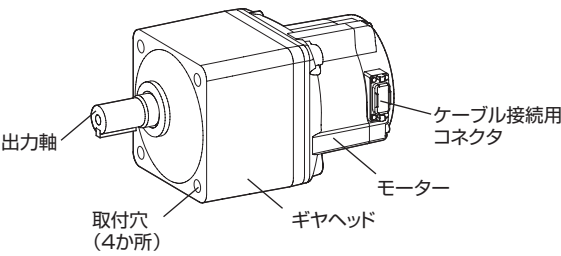
反出力軸側: CC\_\_B

垂直: CC\_\_V

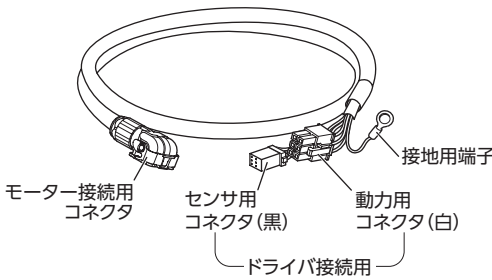


■ 各部の名称

モーター



接続ケーブル(別売)



## 設置

設置場所と設置方法、および負荷の取り付け方法について説明します。

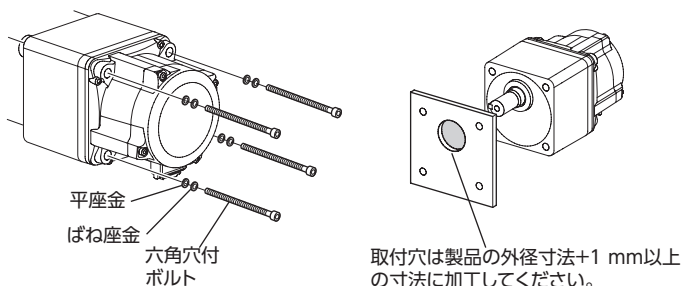
### ■ 設置場所

風通しがよく、点検が容易な次のような場所に設置してください。

- 屋内
  - 使用周囲温度：0～+40℃(凍結しないこと)
  - 使用周囲湿度：85%以下(結露しないこと)
  - 爆発性雰囲気、有害なガス(硫化ガスなど)、および液体のないところ
  - 直射日光が当たらないところ
  - 塵埃や鉄粉などの少ないところ
  - 塩分の少ないところ
  - 連続的な振動や過度の衝撃が加わらないところ
  - 電磁ノイズ(溶接機、動力機器など)が少ないところ
  - 放射性物質や磁場がなく、真空でないところ
  - 標高 海拔 1000 m以下
  - 油(油滴)および薬品がかからないところ
- 水がかかる場所でも使用できます(ドライバ接続用コネクタ部を除きます)。  
ただし、水中、水圧が高いところでは使用しないでください。

### ■ 設置方法

取付用ねじ(M8)で、4か所の取付穴を固定します。  
取付板との間にすき間がないように設置してください。

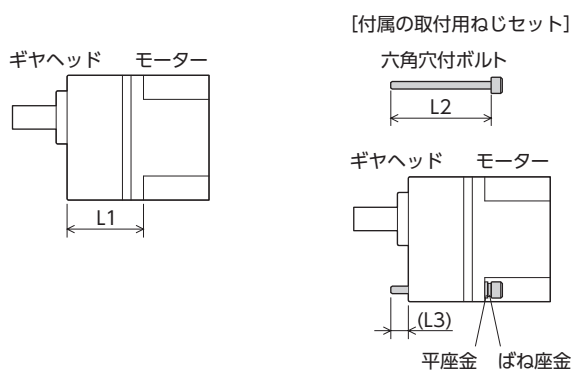


品名	ねじの呼び	締付トルク (N・m)
BLM7200	M8	12.0
BLM7300		
BLM7400		

ねじの材質：ステンレス

#### ● 取付用ねじ

付属の取付用ねじセットには下図のサイズの六角穴付ボルト、平座金、ばね座金が入っています。  
付属のねじを使用しない場合は、下図のL1の寸法を参考にねじをご用意ください。



品名	減速比	L1[mm]	六角穴付ボルト(材質：ステンレス)		
			呼び	L2[mm]	L3[mm]
BLM7200	5～20	78	M8	95	13
BLM7300	30、50	90		110	16
BLM7400*	100	104		120	12

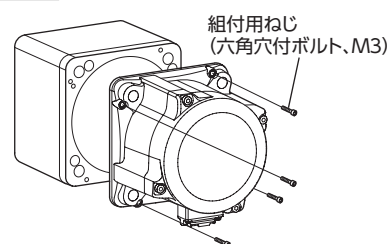
\* BLM7400の減速比は5～50までです。

## ■ ギヤヘッドの取り外し・組み付け

ギヤヘッドを交換したり、ケーブル接続用コネクタ位置を変更するときの手順です。

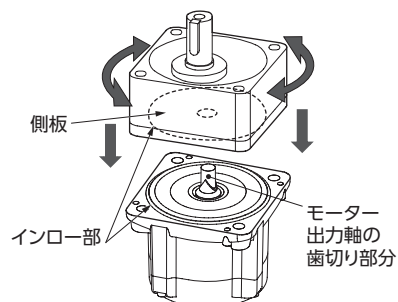
### 1. モーターからギヤヘッドを取り外す

モーターとギヤヘッドを組み付けている組付用ねじ(4か所)を外し、モーターからギヤヘッドを取り外します。



### 2. モーターにギヤヘッドを組み付ける

モーターとギヤヘッドのインロー部を平行にして、ギヤヘッドをゆっくり左右に回しながらモーターに組み付けます。このとき、モーター出力軸の歯切り部分がギヤヘッドの側板やギヤに強く当たらないようにしてください。



モーター出力軸を上向きにした状態で、組み付けてください。

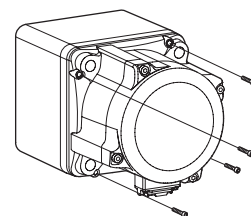
### 重要

- モーターとギヤヘッドを無理に組み付けたり、ギヤヘッド内部に金属片などの異物が入らないようにしてください。モーター出力軸やギヤに傷が付いて、異常音や寿命低下などの原因になります。
- モーターとギヤヘッドのインローにゴミなどを付着させないでください。また、モーターのインローにあるOリングを噛み込まないようにしてください。ギヤヘッド内部からグリースが漏れたり、モーター内部に水が侵入し感電・製品破損の原因になります。

### 3. 組付用ねじで固定する

モーターとギヤヘッドの間にすき間がないことを確認して、組付用の六角穴付ボルト(4か所)で固定します。

締付トルク：0.6 N・m



### 重要

組付用ねじで必ず4か所を固定し、推奨の締付トルクで確実に締め付けてください。モーター内部に水が浸入し、感電・製品破損の原因になります。また、ギヤヘッド内部からグリースが漏れる原因になります。

## ■ 負荷の取り付け

負荷を取り付けるときは、以下の点に注意して取り付けてください。

- 負荷と出力軸の軸中心を合わせてください。
- ギヤヘッドの出力軸には、キーみぞ加工が施されています。負荷側にもキーみぞ加工を施して、平行キーで固定してください。

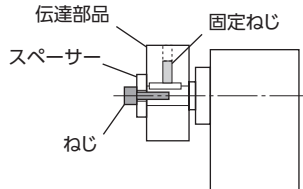
### 重要

- 負荷を連結するときは、心出し、ベルトのテンション、プーリーの平行度などに注意してください。またカップリングやプーリーの締付ねじは、確実に固定してください。
- 負荷を取り付けるときは、出力軸や軸受に損傷を与えないでください。ハンマーなどで負荷を挿入すると、軸受が破損する原因になります。また、出力軸に無理な力を加えないでください。
- 出力軸を改造したり、機械加工しないでください。ベアリングが損傷して、モーター、ギヤヘッドが破損する原因になります。

## ギヤヘッド出力軸先端のねじ穴を使用する場合

出力軸先端のねじ穴は、伝達部品の抜け防止の補助として使用してください。

ギヤヘッド品名	ねじサイズ	有効深さ
GFV7G	M6	12 mm

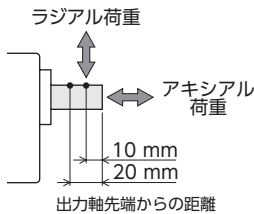


## ■ 許容ラジアル荷重と許容アキシアル荷重

出力軸にかかるラジアル荷重とアキシアル荷重は、次の表の値以下にしてください。

### 重要

ラジアル荷重やアキシアル荷重が許容値を超えると、繰り返し荷重によって、軸受や出力軸が疲労破損するおそれがあります。



品名	減速比	許容ラジアル荷重 (N) *1 ギヤヘッド出力軸先端からの距離		許容 アキシアル 荷重 (N)
		10 mm	20 mm	
BLM7200	5 ~ 20	550 [500]	800 [700]	200
BLM7300	30, 50	1000 [900]	1250 [1100]	300
BLM7400*2	100	1400 [1200]	1700 [1400]	400

\*1 定格回転速度 (3000 r/min) までの値です。[ ]内は 4000 r/min時の値です。

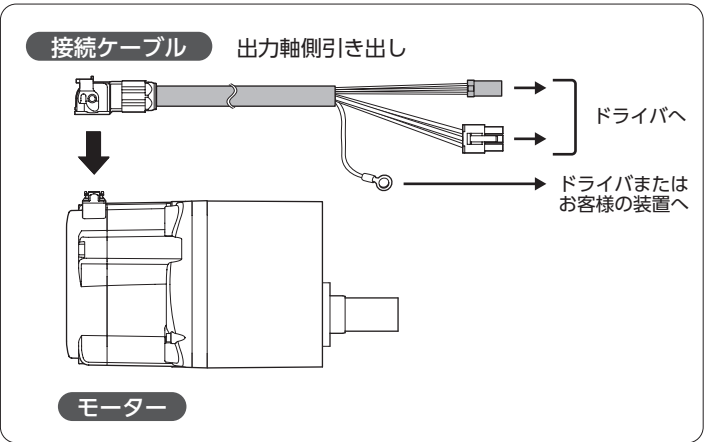
\*2 BLM7400の減速比は 5 ~ 50までです。

## 接続

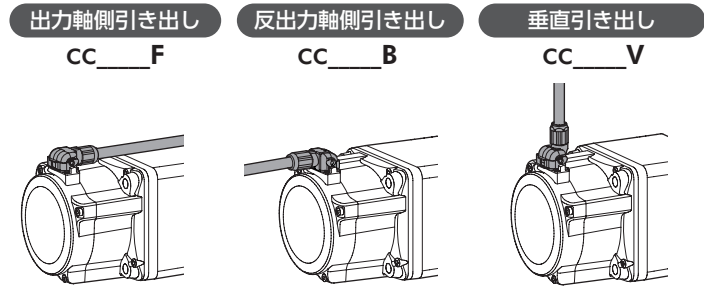
## ■ モーターとドライバの接続

接続ケーブル (別売) を使って、モーターとドライバを接続します。接続ケーブルは引き出し方向の違いで 3 種類あります。

中継用の接続ケーブルは、2 本まで継ぎ足しできます。ドライバの取扱説明書でご確認ください。

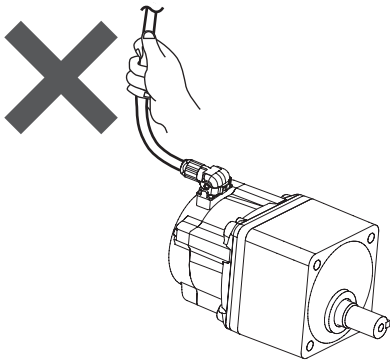


## [ ケーブルの引き出し方向 ]



### 重要

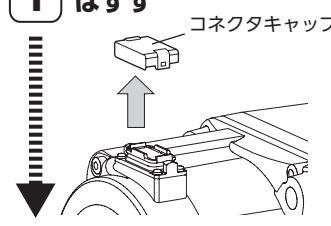
接続ケーブルで製品を持ち上げないでください。製品が破損する原因になります。





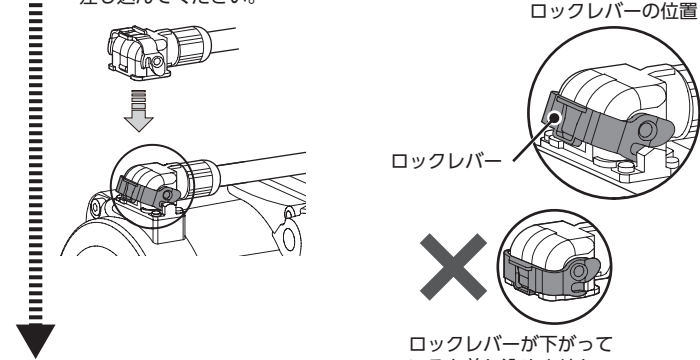
## ■ モーターと接続ケーブルの接続手順

「出力軸側引き出し」の場合で説明します。

- 1 はずす**  


コネクタキャップ
- 2 つける**  

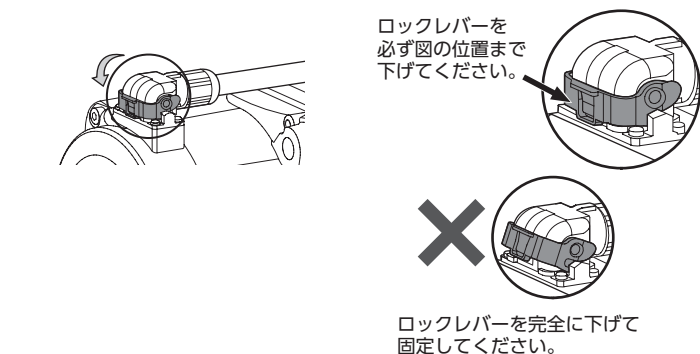
ケーブルの引き出し方向を確認し、コネクタをしっかりと差し込んでください。



ロックレバーの位置  
ロックレバー

×  
ロックレバーが下がっていると差し込めません。
- 3 とめる**  

ケーブルが外れないように、ロックレバーで固定してください。



ロックレバーを必ず図の位置まで下げてください。

×  
ロックレバーを完全に下げて固定してください。

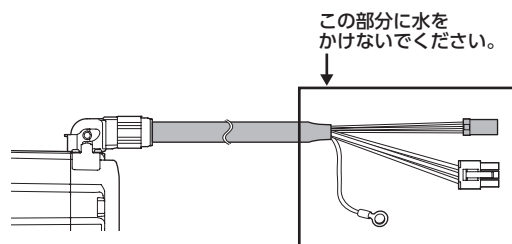
## ■ 接続ケーブルの取り外し

ロックレバーを上げると、ケーブルを取り外せます。

**重要** 接続ケーブルを取り外す前に、モーターに付着している水分やゴミを良くふき取ってください。モーターのケーブル接続用コネクタ内に異物が侵入すると、感電・製品破損の原因になります。

## ■ 配線上のご注意

接続ケーブルのドライバ側の末端部は防水処理されていませんので、水がかからないようにしてください。水がかかると、リード線を通してモーター内部に水が浸入し、モーターが破損する原因になります。



中継用の接続ケーブルを使用する場合も、接続ケーブルの末端部には水がかからないようにしてください。

## 接地

ドライバの保護接地端子④、接続ケーブルの接地用端子を使って接地します。

**重要** モーター、ドライバは必ず接地してください。感電・製品破損の原因になります。  
接地しない場合、静電気によって製品が破損する原因になります。

ドライバには保護接地端子④が2つあります。必ず片方の保護接地端子を接地してください。接地線は、溶接機や動力機器などと共用しないでください。もう片方の端子には、接続ケーブルの接地用端子を接続してください。ただし、接続ケーブルの長さによっては、装置に適用する規格の接地抵抗を満たさない場合があります。その場合は、接地抵抗を満たす長さの接続ケーブルを使って接地してください。モーターとドライバ間の延長距離が足りないときは、中継用の接続ケーブルを継ぎ足してください。

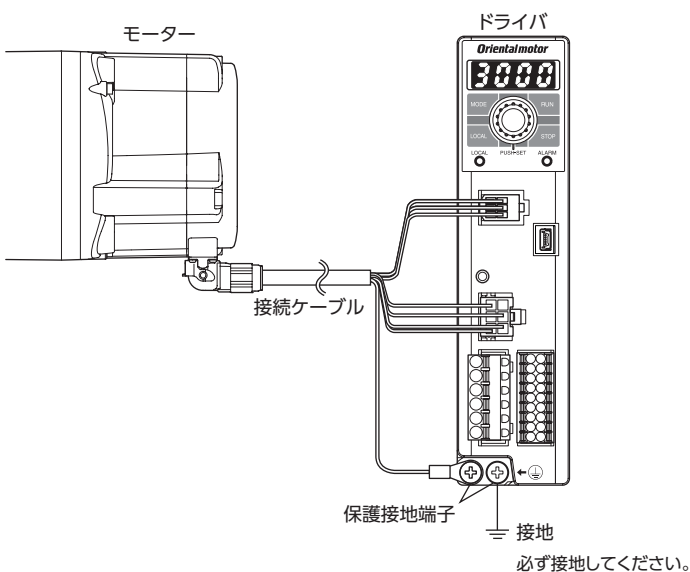
参考

接続ケーブルの保護接地リード線

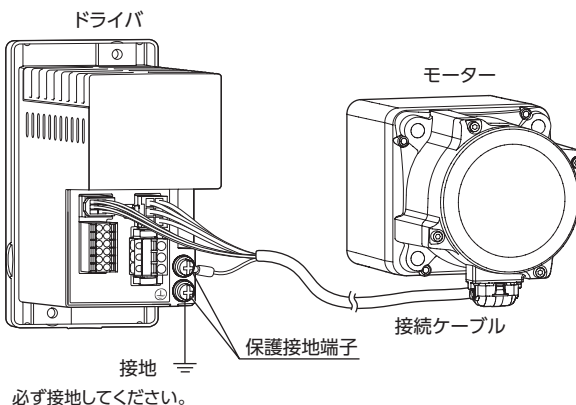
導体サイズ：AWG18(0.75 mm<sup>2</sup>)

最大導体抵抗：25.0 Ω/km

## ■ BLE2シリーズの場合

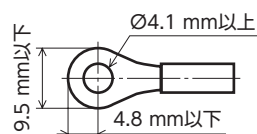


## ■ BMUシリーズの場合



## ■ 接地用端子

- 適用圧着端子：絶縁被覆付き丸形圧着端子
- 端子ねじサイズ：M4
- 締付トルク：1.2 N・m
- 適用リード線：AWG18～14 (0.75～2.0 mm<sup>2</sup>)



## ■ 静電気についての注意事項

静電気によって、ドライバが誤動作したり破損することがあります。静電気による製品の破損を防ぐため、モーター、ドライバは必ず接地してください。

## 点検・保守

### ■ 点検

モーターの運転後は、定期的に必要な項目を点検することをお勧めします。  
異常があるときは使用を中止し、お客様ご相談センターにご連絡ください。



モーターとドライバを接続した状態で、絶縁抵抗測定、絶縁耐圧試験を行なわないでください。製品が破損するおそれがあります。

### ● 点検項目

- モーターの取付ねじに緩みがないか確認してください。
- モーターの軸受部(ボールベアリング)から異常な音が発生していないか確認してください。
- ギヤヘッドの軸受部(ボールベアリング)やギヤの噛み合い部から異常な音が発生していないか確認してください。
- 出力軸と負荷軸に心ズレが出ていないか確認してください。
- ケーブルに傷やストレスがないか、ドライバとの接続部に緩みがないか確認してください。

### ■ 保証

製品の保証については、当社のWEBサイトでご確認ください。  
<https://www.orientalmotor.co.jp/>

### ■ 廃棄

製品は、法令または自治体の指示に従って、正しく処分してください。

## 仕様

製品の仕様については、当社のWEBサイトでご確認ください。  
<https://www.orientalmotor.co.jp/>

## 一般仕様

使用環境	周囲温度	0 ~ +40 °C (凍結のないこと)
	周囲湿度	85%以下 (結露のないこと)
	標高	海拔 1000 m以下
	雰囲気	腐食性ガス、塵埃のないこと。油がかからないこと。 放射性物質、磁場、真空などの特殊環境での使用は不可。 (設置場所の詳細は 4 ページに記載しています。)
	振動	連続的な振動や過度の衝撃が加わらないこと。 JIS C 60068-2-6 正弦波振動試験方法に準拠 周波数範囲：10 ~ 55 Hz、片振幅：0.15 mm 掃引方向：3 方向 (X、Y、Z)、掃引回数：20 回
保存環境 輸送環境	周囲温度	-20 ~ +70 °C (凍結のないこと)
	周囲湿度	85%以下 (結露のないこと)
	標高	海拔 3000 m以下
	雰囲気	腐食性ガス、塵埃のないこと。水、油がかからないこと。 放射性物質、磁場、真空などの特殊環境は不可。
保護等級		IP67 (接続ケーブル接続時、ドライバ接続用コネクタを除く)

## 法令・規格

### ■ UL規格、CSA規格

この製品は、UL規格、CSA規格の認証を取得しています。  
認証取得品名は、モーター品名です。

適用規格	認証機関	規格ファイル No.
UL 1004-1 CSA C22.2 No.100	UL	E335369

\* 耐熱クラス UL/CSA規格：105 (A)

### ■ CEマーキング

この製品は、低電圧指令にもとづいて CEマーキングを実施しています。  
CEマーキング実施品名は、モーター品名です。

### ● 低電圧指令

- この製品は、機器組み込み型です。
- IT配電系統では使用できません。
- 製品は、筐体内に設置し、人の手が触れられないようにしてください。
- 接続ケーブル、ドライバの保護接地端子は、確実に接地してください。
- 接続ケーブルや電源ケーブルなどの動力系ケーブルと、信号系のケーブルは、二重絶縁で分離してください。

### 適用規格

EN 60034-1、EN 60034-5、EN 60664-1

### 設置条件 (適用規格 EN規格)

- 機器組み込み
- 過電圧カテゴリ：II
- 汚損度：3
- 感電保護クラス：クラス I 機器

\* 耐熱クラス EN規格：120 (E)

### ● モーターの温度上昇試験

上記規格で要求される温度上昇試験は、ギヤヘッドの代わりに放熱板付の状態で行なっています。放熱板のサイズ、材質は以下のとおりです。

モーター品名	サイズ (mm)	厚さ (mm)	材質
BLM7200	200 × 200	5	アルミニウム合金
BLM7300 BLM7400	250 × 250	6	

### ■ RoHS指令

RoHS指令 (2011/65/EU) の規制値を超える物質は含有していません。

- この取扱説明書の一部または全部を無断で転載、複製することは、禁止されています。
- 取扱説明書に記載されている情報、回路、機器、および装置の利用に関して産業財産権上の問題が生じても、当社は一切の責任を負いません。
- 製品の性能、仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- 取扱説明書には正確な情報を記載するよう努めていますが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどにお気づきの点がありましたら、最寄りのお客ご相談センターまでご連絡ください。
- **Orientalmotor** は、日本その他の国におけるオリエンタルモーター株式会社の登録商標または商標です。

© Copyright ORIENTAL MOTOR CO., LTD. 2019

2020 年 12 月制作

## オリエンタルモーター株式会社

お問い合わせ窓口（フリーコールです。携帯・PHSからもご利用いただけます。）	
<b>総合窓口</b> <b>お客様ご相談センター</b> 受付時間 平日/9:00 ~ 19:00 東 京 TEL 0120-925-410 FAX 0120-925-601 名古屋 TEL 0120-925-420 FAX 0120-925-602 大 阪 TEL 0120-925-430 FAX 0120-925-603	故障かな?と思ったときの 検査修理窓口 <b>アフターサービスセンター</b> 受付時間 平日/9:00 ~ 18:30 TEL 0120-911-271 FAX 0120-984-815

WEBサイトでもお問い合わせやご注文を受け付けています。 <https://www.orientalmotor.co.jp/>